

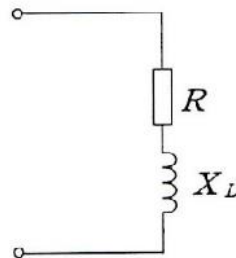
本書の掲載内容に下記の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。初版時からの訂正を載せております。お手持ちの本では修正されている可能性もございます。

頁	箇所	誤	正
48	問題 14		※*1のように訂正します
76	問題 12 解説 1 行目	75%~110%というのは	75%~125%というのは
127	3. 共同防火管理	特定用途部分を <u>含む</u> 複合用途防火対象物 地階を除く階数が <u>3</u> 以上で、かつ収容人員が <u>30</u> 人以上のもの。	特定防火対象物(④⑤除く) 地階を除く階数が <u>3</u> 以上で、かつ、収容人員が <u>30</u> 人以上* のもの。 * 6 項口(要介護老人ホーム等), 6 項口の用途部分が存する複合用途防火対象物の場合は 10 人以上
169	表 3-13		※(3)の延べ面積欄中央の罫線を削除します

* 1

【問題 14】 図のような回路に交流 100 V を加えると 10 A 流れ、直流 80 V を加えると 10 A 流れた。 X_L の値を求めよ。

- (1) 2 Ω
- (2) 4 Ω
- (3) 6 Ω
- (4) 8 Ω



まず、コイルは交流のみに電気抵抗を示し、直流には電気抵抗を示さない
ので、直流 80 V を加えて 10 A 流れたことより、 $R = E/I = 80/10 = 8 \Omega$ 。

次に、交流 100 V を加えると 10 A 流れたので、インピーダンス Z は、 $Z = E/I = 100/10 = 10 \Omega$ 。 $Z = \sqrt{R^2 + X_L^2}$ より、両辺を 2 乗すると、 $Z^2 = R^2 + X_L^2$ となり、 $10^2 = 8^2 + X_L^2$ $X_L^2 = 10^2 - 8^2 = 36$ よって、 $X_L = \sqrt{36} = 6 \Omega$ となります。

以上